

伊豆市の

令和5年度 わかりやすい予算書



総合政策部 企画財政課

目次

1. 予算の基礎知識

- 「予算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 予算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 4

2. 伊豆市の当初予算について

- 令和5年度の予算はいくら？・・・・・・・・・・ 5
- 予算額はどのように推移しているの？・・・・ 6

3. 歳入予算について

- どのような歳入があるの？・・・・・・・・・・ 7
- 市税にはどのようなものがあるの？・・・・ 8
- 伊豆市にはどのくらい借金があるの？・・・・ 9
- なぜ借金が必要なの？・・・・・・・・・・ 10

目次

4.歳出予算について

■どのような目的に使われてるの？・・・・・・・・・・ | 1

■経費を性質で分けるとどうなってるの？・・・・・・・・ | 2

5.主要事業について

■令和5年度の伊豆市の主要事業は何があるの？・ | 3

I. 予算の基礎知識

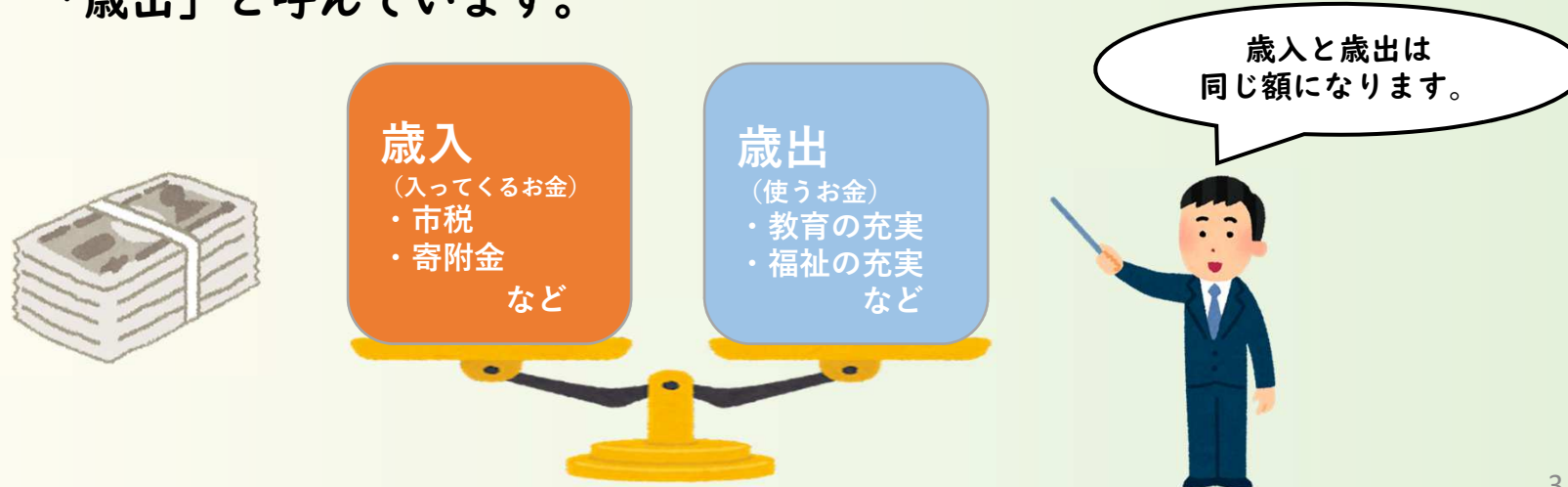
Q 予算って何？

A 市の1年間の収入と支出の見積りのことです。

市では、福祉、教育、ごみ処理、道路の整備など、様々な事業をしていますが、どのような事業に、いくらお金を使うかをあらかじめ決めておく必要があります。

そこで、市が4月1日から翌年3月31日までの1年間に入ってくるお金を見積り、その見積もったお金の範囲内で、使い道を計画したものが、「**予算**」になります。

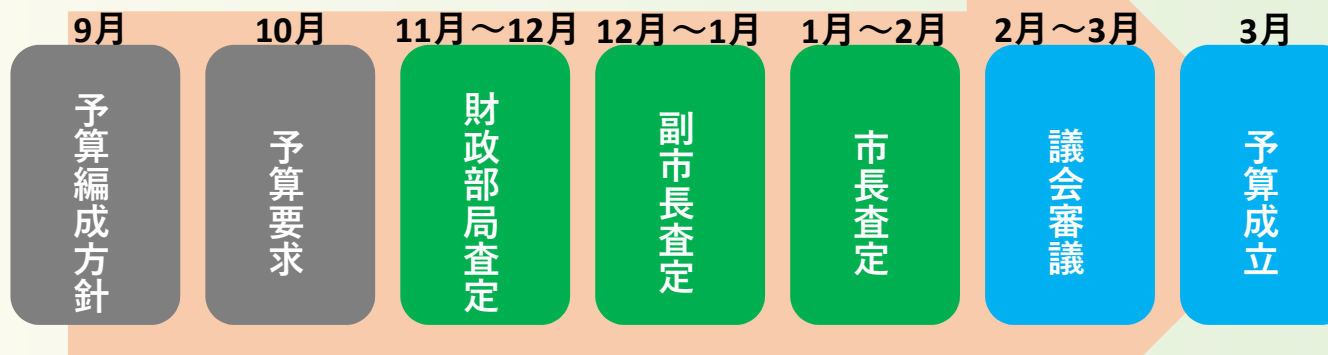
予算書では、伊豆市に入ってくるお金を「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。



I. 予算の基礎知識

Q 予算はどうやって決まるの？

- A 各事業の担当課が向こう1年間の行政サービスを検討し、必要な予算を要望します。その後、要望内容の査定を行い予算案を作成します。
予算案は市議会に提出され、内容の審議を経た後に、議決を受けて予算が決まります。



一度決まった予算は変えることができるの？

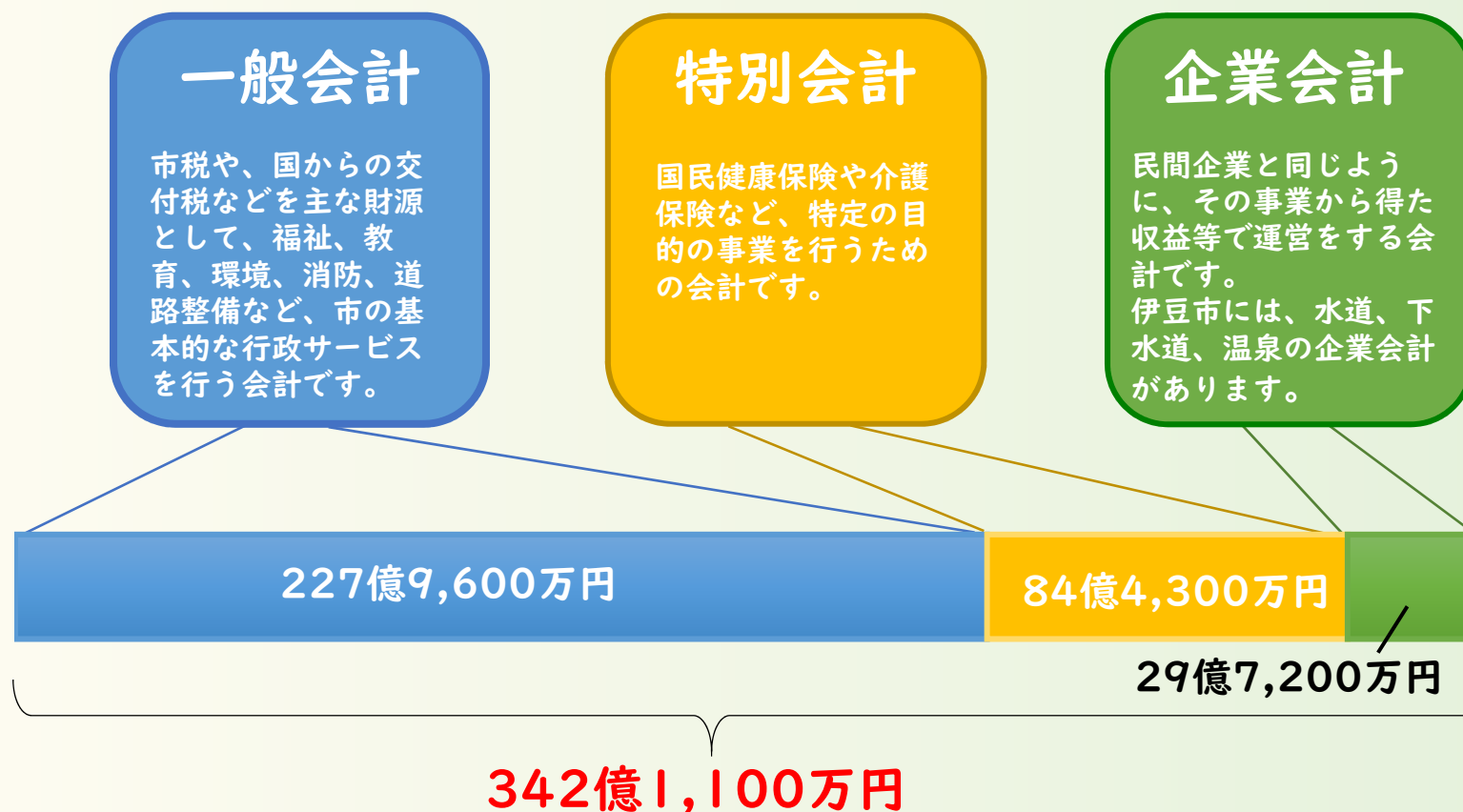
不測の事態が生じた場合は、「**補正予算**」を組み、議会で議決を受けることで、予算を変更することができます。



2.伊豆市の当初予算について

Q 令和5年度の予算はいくら？

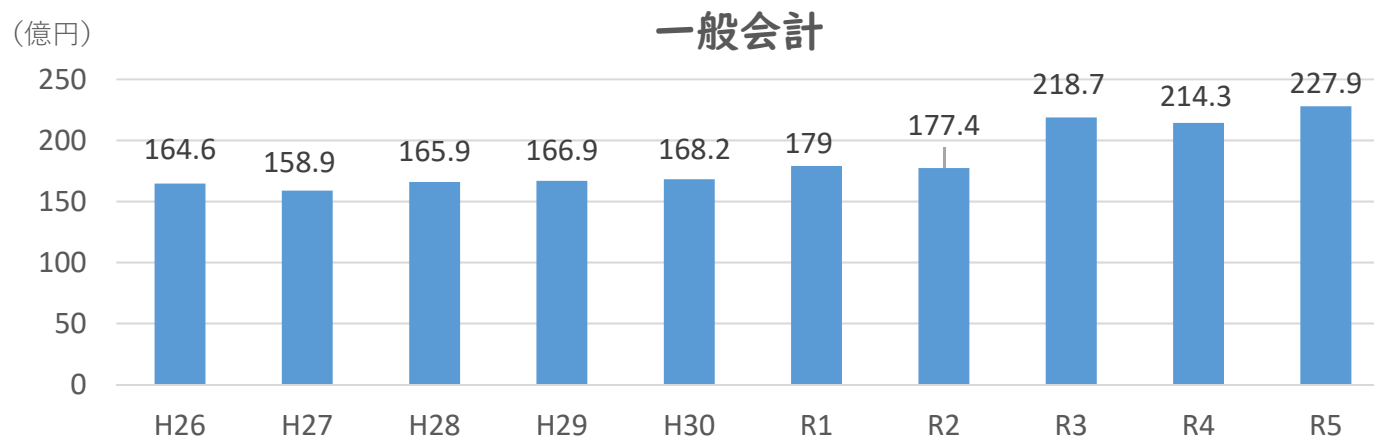
- A 伊豆市全体の予算額は**342億1,100万円**となり、合併以降過去最大の規模となっています。
- 予算は大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに区分されます。



2.伊豆市の当初予算について

Q 予算額はどのように推移しているの？

A 近年、道の駅伊豆月ヶ瀬や修善寺東こども園の整備、中伊豆温泉病院の移転補助、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など重要事業が行われたことにより予算額は増加傾向にあります。特に令和3年度以降は、新中学校の整備など複数の大型事業の影響により、さらに大きく増加しています。



令和5年度の予算は過去最大らしいけど、こんなに使っても大丈夫なの？



令和5年度は、新中学校や松原公園津波避難複合施設の整備など、大型事業が本格化するため、予算の規模が大きくなっています。

財源として、有利な地方債（借金）などを充てることで、市の負担が少なくなるように予算編成をしています。



3.歳入予算について

Q どのような歳入があるの？

A 市民の皆様から納めていただく市税や、国や県からの補助金、市の借金である市債などがあります。

項 目	説 明	令和 5 年度予算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	87億5,500万円	10億700万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	40億8,800万円	3,300万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	12億1,000万円	2億1,000万円
繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	22億5,400万円	8億1,100万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	12億300万円	△4,700万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	140億4,100万円	3億5,900万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	42億1,300万円	5億6,700万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	54億6,800万円	2億8,500万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	30億7,400万円	△6億500万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	12億8,600万円	1億1,200万円
合 計		227億9,600万円	13億6,600万円

3.歳入予算について

Q 市税にはどのようなものがあるの？

A 伊豆市には、以下のとおり6種類の市税があります。

名 前	説 明	令和5年度予算額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	11億8,400万円	△800万円
法人市民税	伊豆市内の会社などが収益などに応じて納める税です。	1億4,600万円	1,200万円
固定資産税	伊豆市内に土地や建物などを持っている方が納める税です。	22億7,900万円	1,900万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	1億1,600万円	300万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	2億2,100万円	△400万円
入湯税	温泉を使った入浴施設を利用した方が納める税です。	1億1,900万円	1,100万円

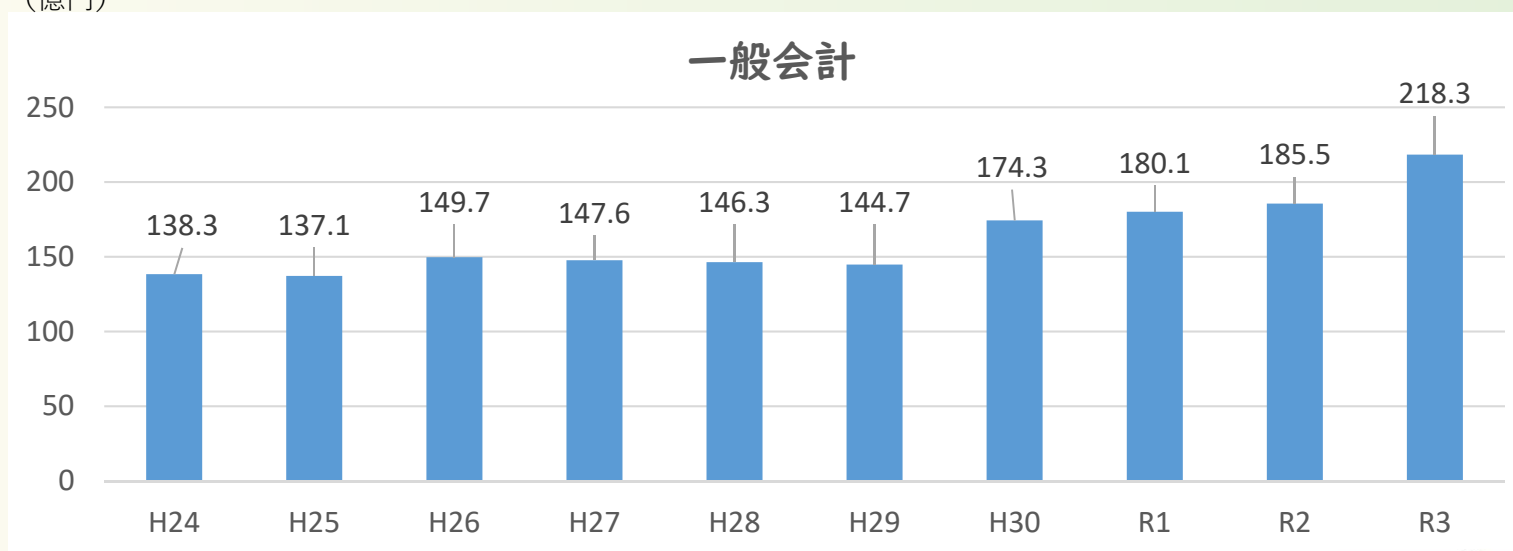


3.歳入予算について

Q 伊豆市にはどれくらい借金があるの？

A 伊豆市の借金は大型事業の影響により平成30年度から増加傾向となっており、令和3年度末の借金の残高は約278億1,000万円となりました。

(億円)



伊豆市はたくさん借金してるけど、
こんなに借金しても大丈夫なの？



借金の種類によっては、返済するお金の一部が地方交付税として国から交付されます。

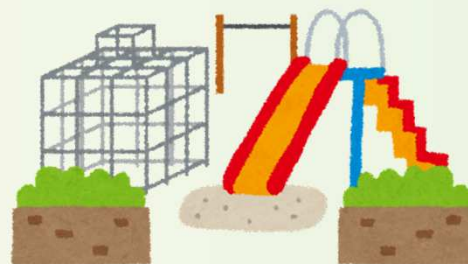
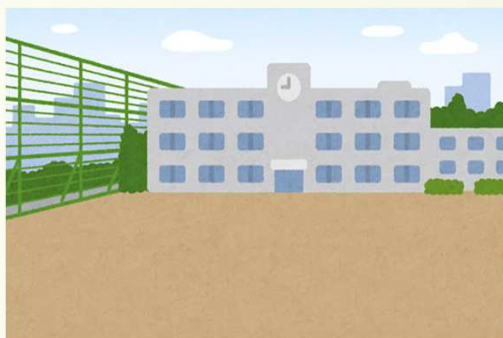
伊豆市では、このような有利な借金を使うようにして将来の負担をなるべく少なくするようにしています。



3.歳入予算について

Q なぜ借金が必要なの？

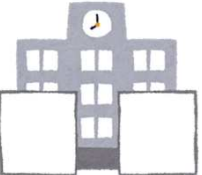
- A 大型事業にかかるお金をその年の収入だけで賄うと、その年に必要なほかの事業ができなくなってしまうため、借金をして財源を補っています。
- また、道路や公園、建物などは長期間にわたって利用する施設になります。借金をしなかった場合、施設を整備した年に市税等で負担した世代と、その後負担なく利用する世代の間で不公平が生じてしまうことから、将来の世代にも負担を分配し、世代間の負担を公平にする役割もあります。



4.歳出予算について

Q どのような目的に使われてるの？

A 民生や教育、土木など様々な分野に使われています。
令和5年度の目的別予算は次のとおりです。

議会の運営に 0.6%  議会費 1億3,386万円	市役所の運営などに 13.6%  総務費 30億9,663万円	児童・高齢者福祉などに 21.9%  民生費 50億346万円	医療やごみ処理などに 10.7%  衛生費 24億4,956万円
雇用拡大の施策などに 0.1%  労働費 1,538万円	農林業の振興などに 3.1%  農林水産業費 6億9,666万円	産業や観光の振興などに 4.4%  商工費 9億9,773万円	道路や公園などの整備に 11.2%  土木費 25億5,794万円
消防活動や防災などに 7.4%  消防費 16億8,886万円	学校教育などに 14.5%  教育費 33億1,635万円	借金の返済に 8.3%  公債費 18億8,150万円	貯金の積立てなどに 4.2%  9億5,807万円

4.歳出予算について

Q 経費を性質で分けるとどうなってるの？

A 歳出予算は、大きく分けて義務的経費・投資的経費・その他の経費の3つの性質に区分することができます。

項 目	説 明	令和5年度予算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	73億6,900万円	2億5,100万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	30億2,100万円	5,200万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	24億6,700万円	9,500万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	18億8,100万円	1億400万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	56億8,800万円	12億3,800万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	97億3,900万円	△1億1,100万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	38億2,700万円	4億6,500万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	8,900万円	400万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	31億4,600万円	△6億1,600万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	9億2,800万円	7,100万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	17億1,900万円	△3,5万円
予備費	緊急に必要となる場合に備えて用意している経費です。	3,000万円	0万円
合 計		227億9,600万円	13億6,600万円

5. 主要事業について

Q 令和5年度の伊豆市の主要事業は何があるの？

A 令和5年度は、出生数の大幅な減少や将来的な財政規模の縮小といった様々な問題に即応する施策に取り組むため、少子化緊急対策を打ち出すとともに、第2次伊豆市総合計画後期基本計画に基づく事業を実施します。

1. 少子化緊急対策

少子化緊急対策

事業費 6,048万円

出生数の大幅な減少に即応するため、これまで取り組んできた、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまでの各ステージを通じた切れ目のない支援を大幅に強化します。

出会い・結婚支援

【新規・拡充】出会い・婚活支援事業 360万円

- ・民間事業者と連携した婚活イベントを開催（年2回⇒3回に拡充）

【新規】婚活支援補助事業 24万円

- ・婚活希望者に対し、県と市町が運営する「ふじのくに出会いサポートセンター」に登録する際に必要となる年会費の一部を補助

出会支援事業補助事業 30万円

- ・出会いの場創出のため婚活イベントを開催する市内事業者に対し補助金を交付

妊娠・出産支援

【拡充】不妊・不育治療医療費助成事業 800万円

- ・不妊・不育治療に係る医療費に対する助成額の上限を10万円から40万円に拡充

【拡充】妊産婦サポート事業 165万円

- ・産後ケア事業、産前産後寄り添い事業、産前産後ママ応援事業を継続実施
- ・ベビープログラム事業に、従来の第1子に加え、第2子を出産した母親を対象としたプログラムを追加

【拡充】出産準備金支給事業 1,100万円

- ・妊娠、出産の準備に係る負担軽減を図るための「出産準備金」を一人につき4万円から10万円に拡充

【拡充】出産お祝い品配布事業 101万円

- ・出産届提出時に配布する出産お祝い品にこども商品券5,000円分を追加

子育て支援

【新規】第2子保育料無償化事業 732万円

- ・従来の第3子以降に加え、第2子の0～2歳児の保育料を無償化

【新規】伊豆っ子未来応援金支給事業 1,855万円

- ・伊豆市で育った子どもに対し、小学校入学に合わせて子育て応援金を支給（第1子：5万円、第2子：15万円、第3子以降：20万円）

【新規】新生児市産材活用祝い品配布事業 160万円

- ・新生児に市産材を活用した記念プレートを配布

【新規】子育てママ交流支援事業 61万円

- ・子育てママの交流の場として、生きいきプラザ広場を活用したイベントを開催

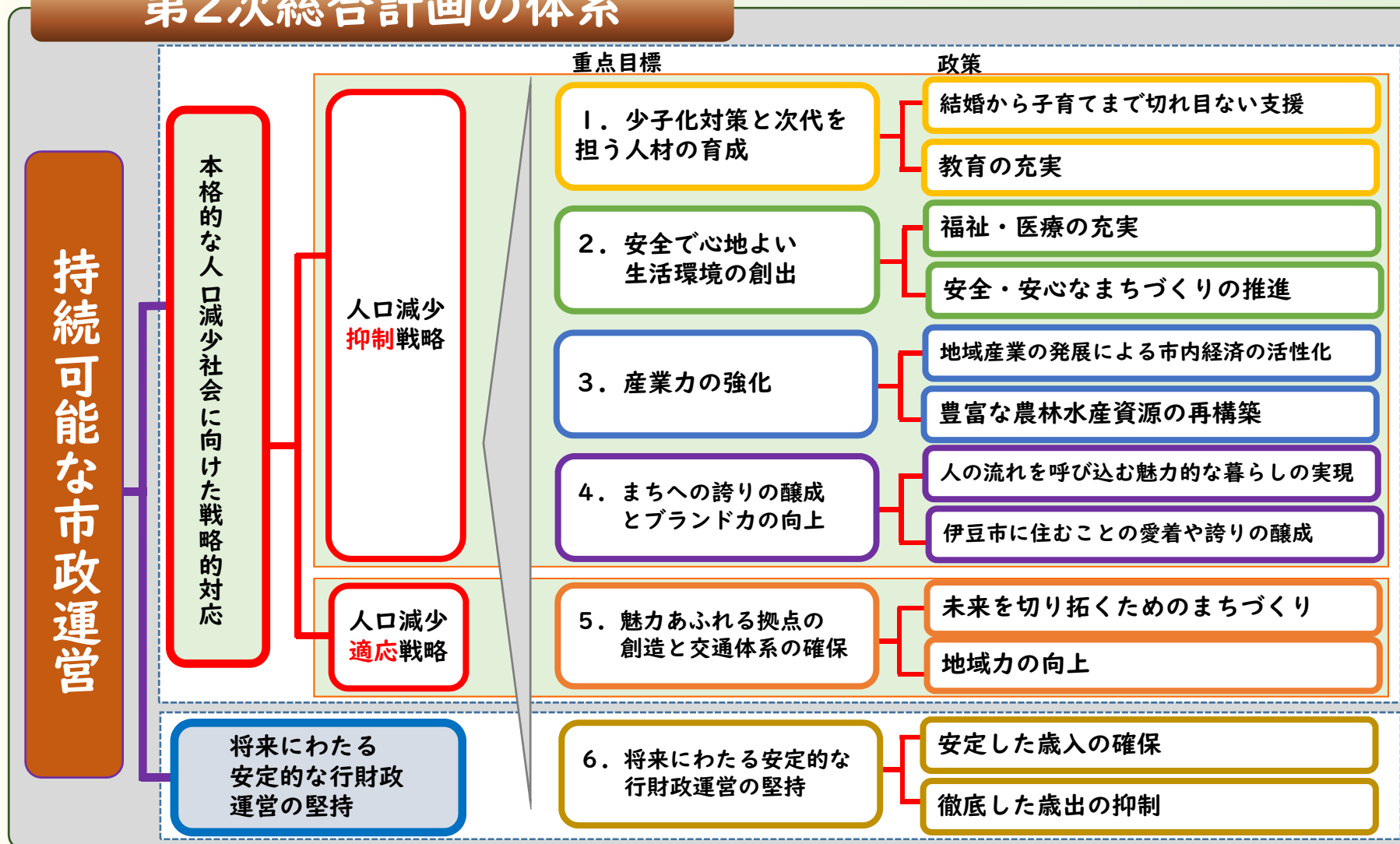
【拡充】こども園体験付きお試し住宅事業 659万円

- ・1カ月単位で、こども園の体験入園と住宅の貸出を行う「山のお試し住宅」を整備

5. 主要事業について

2. 総合計画を着実に推進するための施策

第2次総合計画の体系



5.主要事業について

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

新中学校整備事業

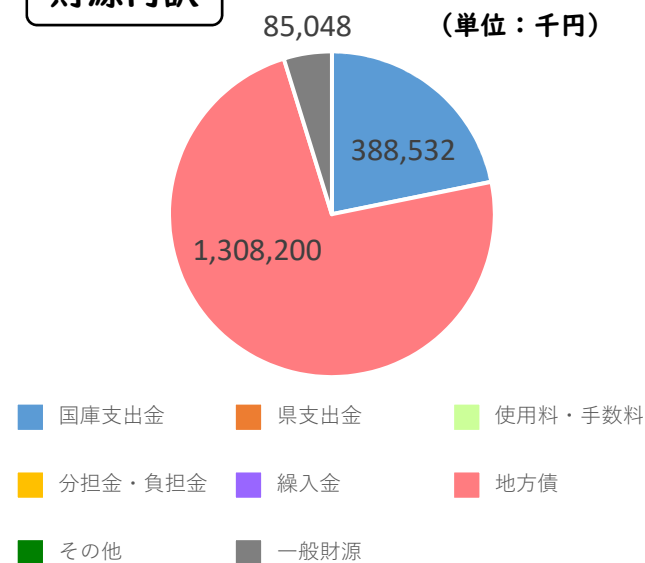
事業費 17億8,178万円

一定規模の集団の中で伸び伸びと学べ、切磋琢磨できる教育環境を整備するため、修善寺中学校・中伊豆中学校・天城中学校の3つの中学校を統合した新中学校の建設を行います。



▲令和7年度開校 伊豆中学校（案）のイメージ

財源内訳



担当課

学校教育課

5.主要事業について

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

中伊豆交流センター再整備事業

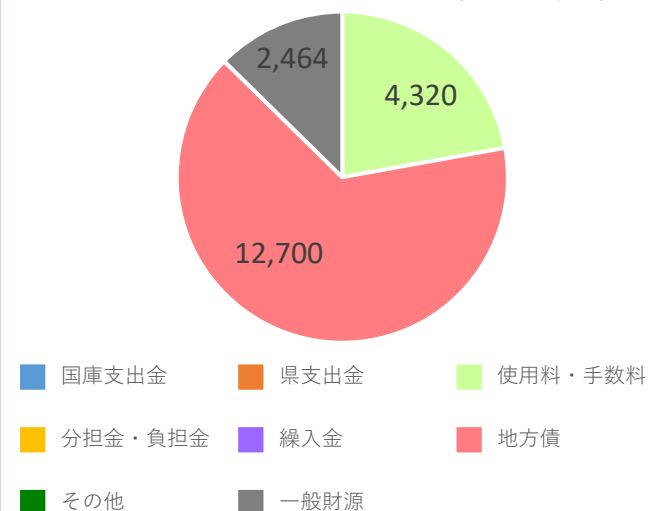
事業費 4,166万円

中伊豆交流センターの、耐震性がない箇所を解体するとともに、受付や休憩のスペースを新設します。



財源内訳

(単位：千円)



担当課

健康長寿課

5.主要事業について

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

松原公園津波避難複合施設整備事業

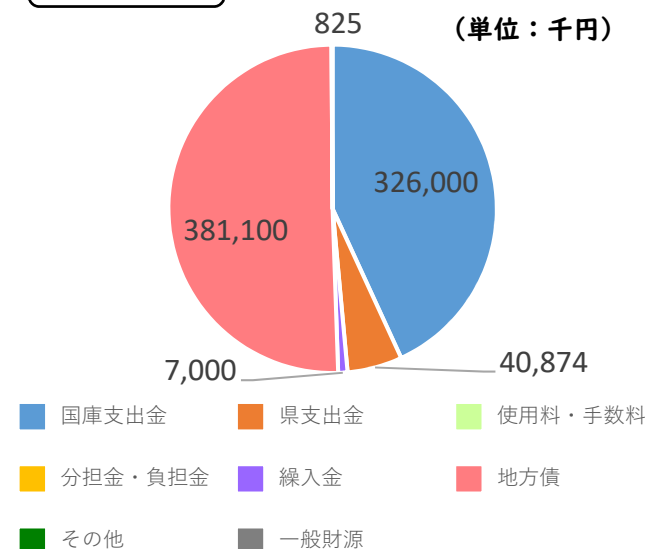
事業費 7億5,580万円

津波避難困難地域である土肥松原公園周辺エリアに、観光客や公園利用者、地元の方々が安全に避難でき、平常時は地域交流の場や、観光施設として活用できる津波避難複合施設を整備します。



▲松原公園津波避難複合施設整備完成イメージ

財源内訳



担当課

危機管理課
観光商工課

5.主要事業について

重点目標 2

安全で心地よい生活環境の創出

危険空き家等対策補助事業

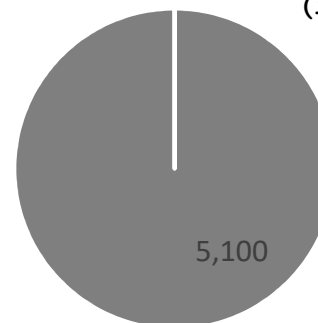
事業費 510万円

適切に管理されていない危険空き家等の除去にかかる費用の一部を補助します。あわせて、対象地区に存在する空き家を除却した場合は、住宅用地特例相当額の固定資産税を減免します。



財源内訳

(単位：千円)



担当課

都市計画課
税務課

5.主要事業について

重点目標3

産業力の強化

東京2020レガシー創出事業

事業費 2,289万円

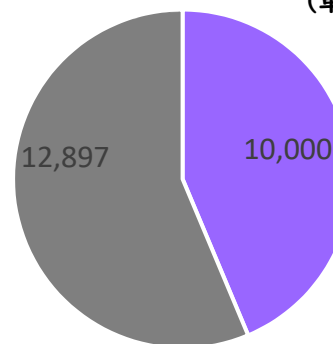
自転車乗り方教室の開催や、自転車購入補助金の交付など、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした、自転車を軸とするまちづくりを進めます。

また、伊豆ベロドロームやマウンテンバイクコースの試走体験会の開催や、国内外の各種自転車競技大会の開催など、自転車文化が市民の方々の心や生活に根付く事業を実施します。



財源内訳

(単位：千円)



担当課

観光商工課

5.主要事業について

重点目標3

産業力の強化

わさびの郷構想推進事業

事業費 8,037万円

世界農業遺産に認定された、伊豆わさびの情報発信拠点を、中伊豆原保地区に整備します。

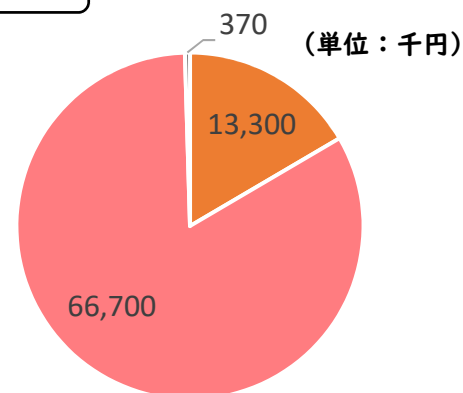
また、わさび名称の適切な保護等を図るため、地理的表示保護制度（GI）の登録を進めます。



▲山間地に広がるわさび田



財源内訳



担当課

農林水産課

5.主要事業について

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

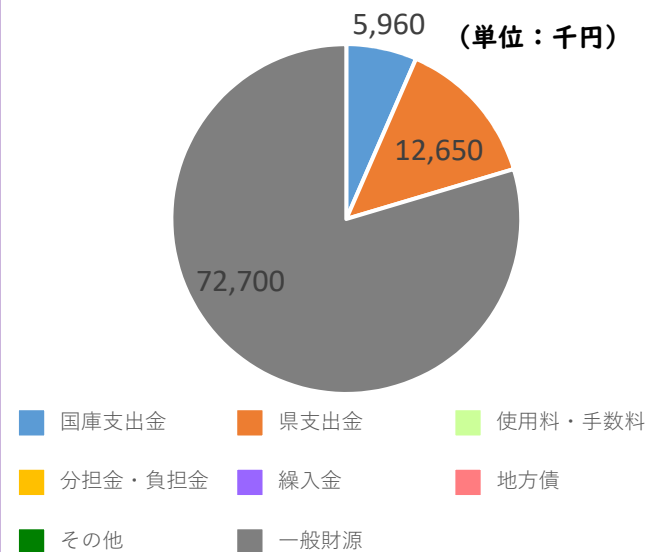
移住定住促進事業

事業費 9,131万円

市内で住宅を購入し定住する世帯に対し交付する移住定住促進補助金や、空き家リフォーム補助金などの各種補助を実施することにより、伊豆市への移住や定住を促進します。



財源内訳



担当課

地域づくり課

5.主要事業について

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

「IzuCamp.comProject」事業

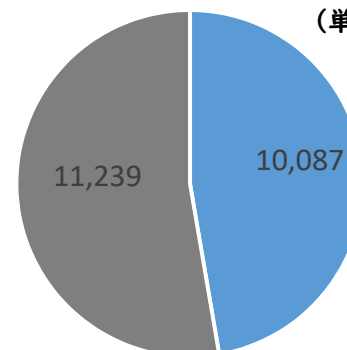
事業費 2, 1 3 2 万円

コロナ禍で急速に伸びつつあるキャンプブームを契機として、『キャンプ王国伊豆市』を目指し、市内キャンプ場の予約DX化やキャンプ情報発信ポータルサイトの構築、キャンプ・アウトドアイベントの実施を通じてポスト（ウィズ）コロナ時代の伊豆市の新しいまちづくりを推進します。



財源内訳

(単位：千円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

地域づくり課

5.主要事業について

重点目標 5

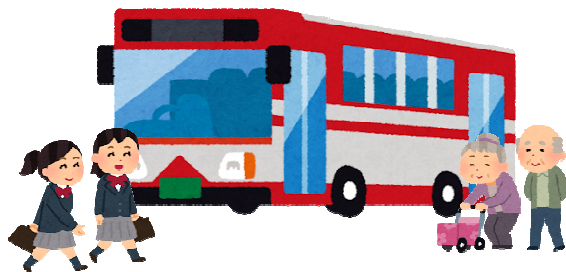
魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

交通利用助成事業

事業費 9,319万円

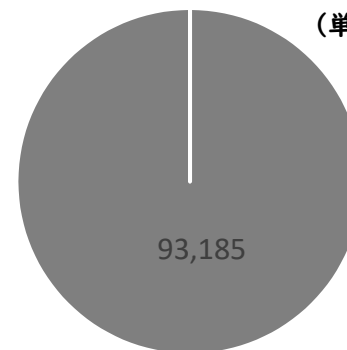
小中高校に通学する児童生徒の保護者の方々の負担軽減と路線バスの利用促進のため、通学費の補助を行います。

また、高齢者や障がい者の方々の生活圏の拡大や福祉の増進を図るため、いきいきパス購入費の補助やタクシー・バス・鉄道の利用券の交付などを行います。



財源内訳

(単位：千円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

担当課

地域づくり課・社会福祉課
健康長寿課・学校教育課

5.主要事業について

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

ふるさと納税促進事業

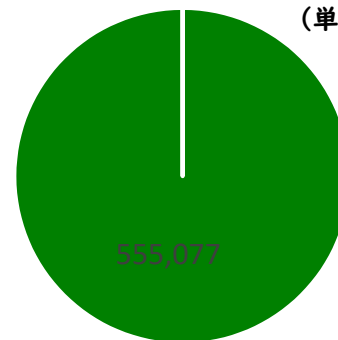
事業費 5億5,507万円

ふるさと納税のさらなる促進を図るため、返礼品の送料負担による商品競争力の向上や、大手検索サイト等へのバナー広告表示などを行います。



財源内訳

(単位：千円)



担当課

企画財政課

5.主要事業について

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

自治体DX推進事業

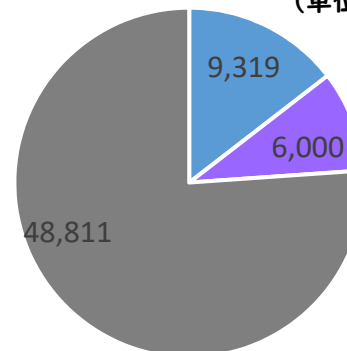
事業費 6,413万円

職員端末の更新や庁内ネットワークの無線化、RPA（業務の自動化）システムの活用などにより、職員の事務の効率化を図るとともに、高齢者に向けたスマートフォン講習会や、マイナンバーカードの利用により住民票などの交付が可能なマルチコピー機を導入するなど、市民の方々の利便性の向上のための事業を行います。



財源内訳

(単位：千円)



担当課

地域づくり課・企画財政課
農林水産課・社会福祉課

令和 5 年度伊豆市のわかりやすい予算書

- 発行年月日 令和 5 年 5 月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野 3 8 番地の 2
電 話 (0 5 5 8) 7 2 - 9 8 5 9
F A X (0 5 5 8) 7 4 - 3 0 6 7